

fff サンフレンズだより

理事長の交代について

サンフレンズの理事長山田知子が5月31日で退任し、後任に副理事長である安藤雄太が就任いたしました。今回は二人のあいさつをお届けします。

理事長を辞するにあたって

お元気で過ごしのこととお喜び申し上げます。平素より、サンフレンズのためにさまざまなご尽力を賜りまして、心よりお礼申し上げます。皆様にご報告しなければならぬことがあります。

この4月1日から、放送大学（生活と福祉コース）の教授として着任いたしました。これまで、大正大学社会福祉学科でソーシャルワーカー養成、いわゆる専門職養成にかかわってまいりましたが、今度は、一転、学生は全員社会人です。放送大学は、多くの保健医療福祉等の現場の職員や当事者とその家族が学んでいて、大変刺激的です。放送大学はNHK学園と間違う人がいますが、まったく違う組織で、文科省の所轄の通信制の大学、30年前にできました。現在、全国の国立大学等の敷地に学習センターがあり、知の拠点となっていて、9万人の学生が在籍しています。生活と福祉コースには生活健康プログラムという大学院修士課程が置かれていて、毎年、100人を超える学生が入学、熱心に修士論文に取り組んでいます。

放送大学の教員は、TV、ラジオ番組の作成、全国にいるたくさんの学生への面接授業など、多忙です。365日、24時間体制の仕事で、気を許すことはできません。サンフレンズの理事長も利用者の皆様とその家族の生活を支え、また、たくさんの常勤、非常勤の職員をかかえて、365日24時間体制の仕事です。どちらも重責、両立は大変難しくなりました。悩みましたが、5月末をもってサンフレンズの理事長を辞し、放送大学の教員としての仕事に専念することにいたしました。サンフレンズの理事長として、地域の福祉、文化の拠点となるべく、さまざまな取組をやろうと考えておりましたので、少し心残りです。理事長職を辞することになりましたが、6月からは、理事として残り、積み残した課題に取り組みたいです。理事職として残るので、これまで同様お付き合いいただければ幸いです。我が国の高齢化率は上昇し続け、寿命は延び、多く

No.72 2013.7.21
発行：社会福祉法人 サンフレンズ
編集：法人本部 事務局
〒167-0023
杉並区上井草3-33-10
03-3394-9833



の人が80歳、90歳まで生きる時代になりました。ますます、高齢期という人生の最終章を支える生活支援の強固な仕組みは重要になっています。長い人生の旅路の最後にたどり着いたところがみじめで不安に満ちた寒々とした生活であってはなりません。利用者の皆様のひとりひとりの人生を大切に、引き受け、最後の最後まで、幸せだったと心底思っただけのような上質な生活支援を展開することがわれわれ高齢者福祉の仕事にかかわるすべての専門職にあるものの使命です。職員の皆さんには、高齢者福祉に携わるものとして、そして、サンフレンズの職員としてのプライドを持ち、常に崇高な理想を掲げ、実現のために一歩も譲らず、ひたむきに努力邁進する姿勢を持ち続けてほしいと思います。

時代は急速に動いています。上質なケアの水準を維持するためにはそのベースとなる経営基盤の強化が必要です。人材の確保と養成、地域福祉推進のとりくみなどやるべきことは山積しており、時代にマッチした法人運営・経営を展開する必要があります。それにはどうしてもドラスティックな変革、オリジナルで柔軟な発想が求められます。新しい理事長には、時代を先取りするような取り組みにぜひ果敢に挑戦してほしいと思います。

関係者の皆様にはこれからもぜひ、サンフレンズの厳しくやさしいサポーターとして忌憚なきご意見を頂戴できれば幸いです。新体制になりましたが、これまで同様、サンフレンズを愛し、育てていただきたいと切にお願いしつつ、理事長辞任のご挨拶に代えさせていただきます。

地域を支え、地域から支えられるサンフレンズに！

この度、先般の5月20日に開催した理事会において理事長に選任されました。

山田知子前理事長をサポートする形で副理事長としてこの間担ってまいりましたが、山田前理事長の放送大学への転職により要職の兼職が厳しい状況になり、残りの任期1年間理事長として担うことになりました。

私が理事としてサンフレンズに実際に関わったのは平成20年からですが、以前から、杉並老後を良くする会、友愛の灯協会などのボランティアな活動に関連を持ち、特に、初代理事長の一番ヶ瀬康子先生とは、福祉教育実践研究やホームヘルプサービスの研修プログラムの実践などボランティアな実践活動を多く学ばせていただきました。

それだけにサンフレンズは、単に介護サービスを提供するだけではなく人の命を大切に、豊かな生活を創りあげていくボランティアアクションを基本に持つ法人として憧れてきました。

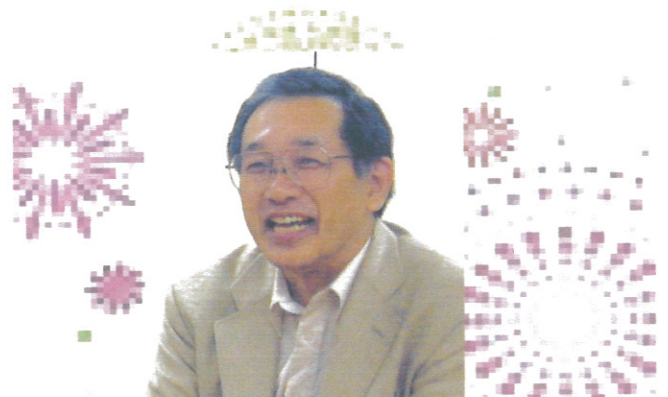
法人の健全財政を目指し、信頼されるサンフレンズに

しかし、昨今の社会福祉をめぐる変化は厳しく、介護保険改正に伴い利用者へのサービスも限定され、さらに社会福祉法人、特に福祉施設を持つ社会福祉法人への見方はより一層厳しさを増しております。一方、認知症高齢者は全国で500万人になろうとし、予備軍まで含めると900万人とこれまでの推測を大幅に上回る現状になろうとしています。現実には、サンフレンズの利用を希望する高齢者及びそのご家族は待機している状態です。それだけにサンフレンズに対する期待は大きいものといえます。

しかし、サンフレンズが法人として安定した運営ができなければ、その期待にも応えられないのは言うまでもありません。長期的に安定した財政運営を目指すためにも、従来の運営を細微なところまで見直しながらか早急に改善を図っていかねければなりません。

そのためにも法人の役職員が一丸となってこの難局をのり越える必要があります。

地域への新たなサービスの展開にむけて



また、サンフレンズはボランティアアクションの中から設立してきた福祉施設です。今地域の高齢者及びご家族の生活は多様化し、ニーズも複雑化しています。

例えば、食事サービス一つにしても、配食も大切な事業ですが一人で食べる孤食が美味しく感じられるでしょうか。むしろ仲の良い人たちとお喋りをしながら楽しみながら食事をするほうがどんなに美味しいでしょうか。

さらに紅葉や桜などの時期にお花見に行きたい。誰でもが思うことでしょう。サンフレンズの各事業所では利用されている方やご家族に対して日々、季節毎に多様なプログラムに工夫を凝らしてきました。

しかし、サンフレンズを利用されていない方々にとっても同様なニーズは高くなってきています。幸いにもサンフレンズは介護保険の利用者ではない方々に対しても、SOS事業をとおして展開してきました。今、地域の中で誰でもが、ふと立ち寄れる、人と人が何気ないお喋りをしながら過ごせる“地域の中の縁側”が必要なのではないのでしょうか。

サンフレンズを応援していただいている家族会、後援会、ボランティア、そして関係機関の皆様の一層のご理解とご支援をお願いいたします。

プロフィール

杉並区生まれの杉並区育ち。東京都社会福祉協議会に就職後、地域福祉部署を中心に東京ボランティア・市民活動センターを経て'08年定年退職。現在、法政大学現代福祉学部講師他、各自治体の地域政策プロジェクトの委員長を兼ねる。

「サンフレンズ後援会 青木利元会長からのメッセージをお届けします」

サンフレンズ後援会は今年度、設立 11 周年を迎えます。

私たちは、それこそ手探りで自分たちは何をなすべきかを考えながら、試行錯誤を重ねてまいりました。

そうした中で、サンフレンズ後援会独自の方針とプログラムを作り上げてきました。それは、サンフレンズのスタッフの能力向上とサンフレンズの地域貢献の支援という、二つの柱です。

本年度は、これまでの 10 年間の努力の土台の上にさらに新たな前進と工夫を重ねて後援会を発展させてまいりたいと存じます。

とくに力を入れていきたいのは、サンフレンズのボランティア活動の一層の活性化のために後援会として出来ることをよく検討し実施していくこと、「困った時の SOS 事業」をバックアップするとともに、地域貢献活動事業への応援と会員の皆様の参加を後押しし、サンフレンズ創立 20 周年事業を人の面でも資金的にもサポートしていくことです。



会員の皆様の一層のご支援とご協力をお願いいたしますとともに皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りいたします。

＜サンフレンズ後援会入会のお願い＞
地域の皆様方のご要望に添ったサービスを目指し日々努力を重ねる法人に「暖かいお心のひとしづく」をお寄せください。

個人会員：一口 2,000 円以上
団体会員：一口 10,000 円以上
同時に、ご寄付もお待ち申し上げます。

感謝録：サンフレンズ後援会にご寄付、会費を納入くださった方々に、感謝を申し上げます。

期間：2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日まで（あいうえお順に掲載させていただきます）

ご寄付をいただいた方：江村三冬様、大西久江様、金子功子様、河邊尚之様、北村耕作様、小林明子様、笹原典子様、志磨咸也様、志磨陽子様、野崎賢様、福田たま様、元杉並・老後を良くする会様（12 名）

個人会費を納入していただいた方：合田和子様、青木利元様、安藤和子様、安藤正様、安藤雄太様、井垣節子様、石毛栄一様、石村延枝様、伊藤裕子様、稲垣義伸様、井上貞子様、今井弘様、今西健二様、岩崎美穂様、岩松彰様、内田祐介様、恵美加子様、江村三冬様、大坪幸子様、大友信勝様、大西久江様、大場栄作様、大場文子様、岡本利子様、岡本波津子様、小澤久子様、織田宏子様、桂田いと様、金子功子様、金行直子様、亀倉正子様、河周子様、河潤之介様、川合美智子様、河邊尚之様、きくや青果店様、岸岡秀直様、岸野恵子様、北村耕作様、久保井操様、桑原七重様、祁答院佳津子様、小泉やすお様、小林明子様、小林五十鈴様、小林牧子様、小松悦子様、小松原昭一郎様、齋藤八重子様、齋藤泰一様、坂本初江様、笹原典子様、佐藤充弘様、佐野晴起様、篠田阿津子様、志磨咸也様、志磨陽子様、清水明子様、清水わか子様、白川すみ子様、杉浦光子様、杉浦幸俊様、高月三世子様、高橋勤様、高橋史子様、滝本保子様、田寺俊治様、田寺徳治様、田寺由紀様、田邊紀行様、寺沢正太良様、寺嶋日和様、戸澤吉江様、中島太吉様、中田斐子、中田芙美子様、永田祥子様、中村滋男様、中山直芳様、中山道子様、仁平正夫様、野崎賢様、羽場令人様、深堀和子様、福田恭子様、福原美智枝様、伯耆原功様、星野絵里様、前田逸子様、前田達夫様、間世田美代様、松尾廣高様、三浦あさ様、三谷一晃様、森道夫様、山内力様、山崎和一様、山崎眞美様、山住美津子様、八畠年子様、山本智様、横田英夫様、横谷サト子様、吉岡順一様、四ツ橋昭子様、匿名希望 3 名（計 108 名）

団体会費を納入していただいた方：井荻地区民生委員協議会様、鈴木組様（2 団体）

サンフレンズ後援会 2013年度事業計画の概要

2013 年度の後援会の事業計画の基本方針は、①サンフレンズ職員の専門性を高めるための研修などの「人材育成プログラム」を支援、②サンフレンズのボランティア活動を一層活性化させるため、後援会の支援を前進させ、「困った時の SOS 事業」をバックアップするとともに、地域貢献活動事業の応援と会員参加を促進、③サンフレンズ創立 20 周年事業を人的・資金的にサポートする、という 3 点です。

それぞれの具体的な計画として以下のような取り組みを行います。

<人材育成への支援>

サンフレンズが計画している以下の研修の実施を支援します。

- (1) 「21・老福連」主催の職員研究交流集会への参加を支援します。
- (2) サンフレンズが計画しているインターンシッププログラムを支援します。

<ボランティア活動と地域貢献事業への支援>

- (1) サンフレンズやボランティアとの交流を深め、後援会の支援の仕方を検討します。
- (2) 「困った時の SOS 事業」に対して、ボランティア活動と必要な器具補充の支援をします。

<入居者の家族および地域への情報発信の支援>

- (1) 「市民のつどい」「学習会」「講演会」など、サンフレンズとの共催企画を通して、地域に情報を発信する機会をつくります。
- (2) サンフレンズのホームページに後援会欄を設け、後援会活動の発信を行います。

- (3) 「サンフレンズだより」を後援会会員に送付します。

<後援会活動の活性化>

- (1) 各事業所で後援会の会員拡大を図ります。そのために、必要に応じて家族会や家族懇談会に出席します。また、サンフレンズに関係する団体へ、後援会への加入を呼び掛けます。
- (2) 後援会の学習の場として、サンフレンズの職員とともに、先進的な取り組みをしている施設等への視察・研修を行います。
- (3) 後援会会員に役立つ具体的な企画を検討します。
- (4) 後援会のあり方について、サンフレンズ、後援会会員、ボランティアとの議論を深め、今後の後援会のアクションプランに反映させます。

<サンフレンズ 20 周年の支援>

サンフレンズ設立 20 周年に関して、2013 年度に記念事業の準備をし、2014 年度に実施する計画でいます。後援会は記念事業の準備、実施を支援します。

<サンフレンズへの資金面の支援>

事業費として以下の内訳で合計 800,000 円の資金援助を行います。

職員研修費用補助	300,000 円
「市民のつどい」開催費用補助	150,000 円
SOS 事業費用補助	50,000 円
防災対策費用補助	200,000 円
ネットワーク環境整備費用補助	100,000 円

法人への寄付金および物品等を賜り、厚く御礼を申しあげます。

2013年5月1日から6月30日までにご寄付をいただいた順に掲載しております。

(寄付金のお預かり後、2週間以内に法人事務局より領収書を郵送いたします。届かない場合はお手数ですが、法人事務局までご連絡をお願いいたします。)

《寄付金》小島康介・満貴子様・匿名希望 6 名

《物品等》橋爪美子様・池田明子様・菅野美子様・山内ひろみ様・匿名希望 2 名

サンフレンズだより・ホームページへのご意見・ご感想をお寄せください

本部事務局 電話 : 03 (3394) 9833

FAX : 03 (3394) 9834

担当 : 河野・鳥羽・中山

ホームページアドレス

<http://www.3friends.or.jp>

E-mail アドレス

kamiigusa@3friends.or.jp